

令和元年

第4回防府市議会定例会

一般質問

12月2日（5人）

1 今津 誠一・2 山田 耕治・3 河村 孝・4 石田 卓成
5 上田 和夫

12月3日（5人）

6 宇多村 史朗・7 田中 健次・8 吉村 祐太郎・9 山根 祐二
10 曾我 好則

12月5日（4人）

11 高砂 朋子・12 牛見 航・13 久保 潤爾・14 清水 浩司

12月6日（4人）

15 三原 昭治・16 和田 敏明・17 山本 久江・18 清水 力志

No.	1	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1 新庁舎建築計画案の問題点		新庁舎建築計画案の問題点を列挙し質したい。 (1) 市庁舎敷地を行政ゾーンと見做す無理 (2) 計画の全体図 (3) 市庁舎敷地に県の施設を建設する愚策 ア 防府市の独立性が毀損される。 イ 防災拠点機能が果たされない。 ウ 合築する目的は消滅した。 エ 警察署の移転も予定されている。 オ 将来の建て替え時の用地が失われる。 (4) 議会は本庁舎に入れ、議会棟の活用を考えるべき。 (5) 立体駐車場、福祉棟の建設は不要。

No.	2	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	災害に強いまちづくりについて	(1) 本市や他市で起きた自然災害に対し、減災に向けた対応強化が必要と考えるが、公共施設等での災害によるリスク評価と環境整備の状況は？ (2) 国や県が管理する河川の浚渫状況は？ (3) 新庁舎での防災拠点としての整備をどう考えているのか？ ア 熊本・大分等の自然災害での教訓を活かした施策は？ イ 高い耐震安全性の確保やライフライン対策、免震構造の採用、屋上階に自家用発電設備の設置等、今時点で考えられていることは？ ウ 災害が発生した時に大切なのが人力である。ボランティアと社協、社協と市、それぞれの役割も含めた動線を、今のうちから考える必要もあると思うが、如何か？
2	交通マナーの向上について	(1) 交通違反の中で、特に悪質・危険性の高い事故の原因となる無免許運転、飲酒運転、速度超過の3つを指す交通三悪件数の推移は？ (2) 企業では、昭和40年6月に道路交通法に規定された制度、（道路交通法第74条の3第1項、第4項）安全運転管理者制度がある中で、市役所の管理者は？また、推進啓発をする担当は決まっているのか？ (3) 令和元年12月1日から、スマホ等の「ながら運転」に対する罰則等、大幅に適用が強化される。道路交通法での2輪車も対象となるが周知や啓発をどのように行うのか？

No.	3	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1 子どもの読書環境の向上について		文部科学省の「子どもの読書活動の推進に関する有識者会議」では、「子供が読書を好きになり、自主的に読書をするようになるためには、乳幼児期から発達段階に応じた取組が行われることが重要」と指摘している。子どもたちが本と親しむ環境づくりを推進させるために、主に未就学児に対する取組についてご所見を伺う。 (1) 幼稚園・保育園・認定こども園の絵本の蔵書数について (2) 教諭や保育士への読み聞かせなどに対する研修について (3) 園児や保護者に絵本の貸し出しをするボランティアの育成について (4) 「赤ちゃん文庫事業」の取組について (5) 学校司書の専任化について
2 幸せますステーションの拡充について		市内の各場所で気軽に休憩できる場所を提供するものとして、「防府市幸せますステーション」の認定・拡充が行われているが、スマイルほうふや潮彩市場防府や英雲荘など観光施設や公共施設が多く、民間施設では一部の施設しか認定されていない。また、スマイルほうふや潮彩市場防府や英雲荘などの観光施設へ行く途中にこそ、幸せますステーションが必要である。街中に休憩施設を充実させるために、店先や庭先のベンチだけを提供するような回遊拠点「防府市幸せますステーション簡易版（仮称）」を拡充する取組が必要ではないか伺う。
3 防災意識社会の構築について		(1) 「市指定の緊急避難場所には、全ての地域住民を収容できる場所がないので、警戒レベル4『避難勧告』でも避難をしない」という声がある。また、「自分は避難しなくて大丈夫」という声もある。このような避難をしない市民に対しての対応をお伺いしたい。 (2) 平成3年の台風第19号、7・21「平成21年7月中国・九州北部豪雨」などの過去の災害を知らない若い世代や、防府平野の多くは干拓地で、海拔が低い事など地域の特性を知らない転入者の方も増えてきている。どのように、防災意識を向上させていくのか。 (3) 設置された防災倉庫の備蓄物資と自主防災組織（自治会）として準備すべき防災用品がある。定期的に防災倉庫の物資の周知などを行い、自主防災組織にガイドラインを示すべきではないか。

No.	4	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	陳澄波の絵画「東台湾臨海道路」を通じた台湾との交流について	(1) 絵画の台湾への貸し出しについて具体的な計画を教えてください。 (2) 絵画の貸し出しを契機に、今後の防府市と台湾との交流が益々盛んになることを期待しておりますので、可能であれば防府市からも代表団が訪問させて頂いた上で、台湾の皆さまとの交流が図れることを期待しておりますが、市が主体となって、そのような取り組みを考えて頂けませんでしょうか。
2	デイサービスの送迎インフラを活用した高齢者の新たな外出支援の仕組みづくり	(1) A I を利用した福祉ムーバーを導入し、デイサービスの送迎インフラを活用した高齢者のための新たな外出支援策を全国に先駆ける形で構築して欲しいと願っておりますが、いかがでしょうか。 (2) このような仕組みを市が主体となって構築するにあたり、高齢者に外出して頂くことは介護予防にも繋がるという観点から、介護保険事業特別会計の中の、地域支援事業として高齢者の外出支援の取り組みを行えないでしょうか。介護保険事業特別会計を使えば、市の負担は実質 12.5 パーセントとなり、財政に与える影響も少なく済むと考えますが、いかがでしょうか。

No.	5	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	ストリートピアノについて	市文化施設に誰でも弾けるピアノを設置できないか。
2	民生委員・児童委員の負担軽減について	(1) 民生委員・児童委員の一人当たりの担当世帯数及び地域配分は、どのようになっているのか。 (2) 民生委員・児童委員の成り手不足の要因をどのように認識し、その確保に向けてどのような対応をしているのか。 (3) 民生委員・児童委員の負担軽減をするための方策を、どのように考えているのか。
3	小・中学校の不登校対策について	(1) 小・中学校の不登校児童・生徒の数と5年間の推移は。 (2) 不登校児童・生徒に対する支援について、本市の取り組みは。

No.	6	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	防災対策について	(1) 天井川の現状と維持管理はどのような状況か。 (2) 避難者への食料支援体制をどうするのか。
2	防府市管内の駅舎プラットフォームと列車との段差について	(1) 列車乗降時の段差を把握しているか。 (2) J R西日本への要望について

No.	7	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	災害対策について	(1) 災害廃棄物の仮置場はどのくらい確保されているか。 (2) 「まるごとまちごとハザードマップ」に取り組むべきではないか。 (3) 「満タン&灯油プラス1缶運動」に取り組むべきではないか。 (4) 防災用品のあっせん・紹介を検討すべきではないか。
2	財政データの透明化、公表について	(1) 決算カードを公表すべきではないか。 (2) 中期財政計画は、「今後実施を見込む財政運営上影響の大きい主な事業」を示すべきではないか。 (3) 予算編成過程を透明化すべきではないか。
3	公共下水道事業について	(1) 一般会計から公共下水道事業会計への市の繰出基準はどうなっているのか。国の繰出基準を超える繰出しをしていないか。 (2) 公共下水道事業の企業債残高の今後の見通しはどうか。 (3) 下水道整備の事業量を抑制すべきではないか。

No.	8	吉村 祐太郎
質 問 事 項		要 旨
1	自治会について	自治会の活動助成について
2	生活ゴミの回収について	非自治会員等の生活ゴミの回収方法について
3	防府競輪の活性化について	防府競輪の活性化に向けた、競輪場の老朽化施設への対応について

No.	9	山根 祐二
質 問 事 項		要 旨
1 水路等の浚渫作業について		(1) 地域の方々が水路等の浚渫を実施する場合、その浚渫汚泥は生活安全課が地元の要望により回収、処分するようだが近年の実施状況はいかがか。 (2) 側溝のふた上げ機の貸し出し状況はどうか。 (3) 幹線道路等で交通量が多い道路側溝や深い水路などでは地元での浚渫が困難な場合もあるが、どのような対応をされているのか。

No.	10	曾我 好則	
質 問 事 項			要 旨
1 今後の財政運営について			本市の財政は、実質単年度収支が5年連続赤字であり、財政調整基金を取り崩すなど、大変厳しい財政運営となっている。 これから、庁舎建設をはじめとした魅力あるまちづくりを進めていく一方で、持続可能な財政運営が望まれるが、今後の財政運営について、ご所見を伺う。
2 各地域で想定される災害避難訓練等の実施について			本年10月の台風19号は、東日本を中心に記録的な大雨が降り、広い範囲で河川が氾濫するなど、甚大な被害を受けた。 昨年の平成30年7月豪雨でも、西日本を中心に200名を超す尊い命が奪われ、毎年のように全国各地で災害は頻発している。 本市においても他人事ではない。一級河川佐波川の氾濫をはじめ、高潮、土砂災害、津波、地震等は、いつどこで来るかわからない。 市内各地域における被害想定は異なり、いざ災害に直面した場合、個人個人がおかれた状態に応じた避難行動をとれるよう、自らの活動地域や生活地域で被害想定をしっかりと把握しておくことが重要と考える。 本市は、各種災害に応じて避難訓練や各種講習会等を今まで以上に実施する必要があると考えるが、今後の対応について、ご所見を伺う。

No.	1 1	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	子どもを健やかに産み育てる環境づくりについて	(1) 新生児聴覚検査の実施状況と公費負担について伺う。 (2) 乳幼児がいる家庭への防災対策として、乳幼児用液体ミルクや衛生用品等、防災グッズリストの作成と啓発について伺う。
2	市営墓地等の管理運営について	(1) 平成28年度に実施されたアンケートから、市民の墓地に対する考え方、希望される形態、将来の墓地の管理や承継に対する不安等をどのように把握されているのか、分析結果と本市の墓地供給に係る中長期的な基本方針について伺う。 (2) 平成28年度からの市営墓地の現状調査、台帳の再整備により、墓地利用の承継や返還の手続きの状況や、所有者不明墓地（無縁墓）の現状とその対応について伺う。 (3) 大光寺原霊園への洋式トイレの設置と駐車場の整備について伺う。

No.	1 2	牛見 航
質 問 事 項		要 旨
1	防府市内高校生の就職支援について	高校生の求人および、市の就職支援についてはどのようなになっているか？
2	2020年春サービス開始予定の5G（第5世代移動通信システム）について	サービス開始にあたり、防府市として地域活性のための活用を行う調査研究をされていることはあるか？

No.	13	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1 行政評価について		防府市では行政評価を行っているが、その効果が今一つ感じられないので、以下の点について伺う。 (1) 行政評価を行う目的は何か。 (2) 行政評価の効果を実感されたことがあるか。 (3) 市職員は行政評価の結果をどのように活用しているのか。

No.	1 4	清水 浩司
質 問 事 項		要 旨
1 防災対策について		(1) 避難所について 避難勧告が発令になり、避難所が満員になった場合には、他市との連携等、相互連携はどうなっていますか。 (2) 佐波川洪水ハザードマップの周知について 1000年に一度の佐波川洪水が発生した場合、小野の平野部はすべて水没する様にハザードマップには示されていますが、ハザードマップの見方を住民に分かり易く説明する必要があると思うが、いかがか。 (3) 危険箇所の把握について 先の関東・東北豪雨では、堤防決壊の8割が合流点の近くとありますが、佐波川の越水し易い場所やバックウォーターが発生する場所の把握はできていますか。

No.	15	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1 野犬や野良猫対策について		近年、野犬や野良猫が増加傾向を見せている。これに伴い様々な被害が多発傾向にあるが、市としてどのような対策を講じているのか。
2 右田地域への防災公園の整備について		若い世代の方々による周辺地域への住宅建設が急増している。特に、右田地域は近年、住宅ラッシュと言っているほどの状況にあり、これに伴って子どもたちも激増しているが、その子どもたちが安全で安心して遊べる公園や広場がなく、その設置が強く求められている。また、平成21年7月21日の痛ましい豪雨災害から、今年で10年を迎え、単なる公園や広場ではなく、防災機能を備えた公園等が必要であると、6月議会で一般質問を行った。 これに対し、防災対策は重要課題と強調されている池田市長は、市全体の防災対策から佐波川右岸地域の防災公園の整備は必要との答弁をされたが、災害はいつ、何時、襲ってくるかも知れません。スピード感を持った今後の具体的な取り組みについて伺いたい。

No.	16	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1 防災について		(1) 情報伝達について (2) 避難場所について (3) 人材不足について (4) 災害廃棄物処理計画について
2 庁舎建設について		庁舎建設について

No.	17	山本 久江
質 問 事 項		要 旨
1	男女共同参画について	(1) 市の審議会、委員会等への女性の積極的な登用について (2) 男女共同参画推進条例の改正について (3) 男女共同参画に関する情報の提供、相談・支援体制等の充実を図るための拠点の整備について
2	クリーンセンターの運営について	(1) 11月から3月までの祝休日のごみ収集の実施について (2) リサイクルの現状と今後の取組みについて (3) 高齢者等ふれあい戸別収集の取組み状況と対象の見直しについて
3	留守家庭児童学級について	待機児童の現状と今後の運営について

No.	18	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1	利用者や家族等による介護職員へのハラスメント対策について	(1) 防府市の介護現場におけるハラスメントの現状は。 (2) 本年４月に厚生労働省から介護現場におけるハラスメント対策マニュアルについての通知が出されたが、市はどのようにマニュアルを活用して、介護事業者と連携して介護ハラスメント対策を行っていくのか。
2	教員の時間外勤務について	(1) ３月議会の一般質問で小・中学校の教員の働き方の現状が明らかになった。山口県教育委員会が作成した「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」では平成２９年度からの３年間で、教員の時間外勤務時間を３０％削減することを目標としているが、防府市での進捗状況は。 (2) 現在、国会で変形労働時間制の導入が審議されているが、教育委員会は変形労働時間制の教育現場への導入についてどのように考えているか。

